

特集:2018北東アジア経済発展国際会議 (NICE) イン新潟 プログラム

開催日 2018年1月30日(火)～31日(水)

会場 朱鷺メッセ(新潟市中央区)4階 マリンホール

主催 北東アジア経済発展国際会議実行委員会(新潟県、新潟市、ERINA)

後援 外務省、経済産業省、国土交通省、新潟大学、中華人民共和国駐日本国大使館、駐日モンゴル国大使館、在日ロシア連邦大使館、一般社団法人東北経済連合会、一般社団法人新潟県商工会議所連合会、一般社団法人新潟県経営者協会、新潟経済同友会、日本海沿岸地帯振興連盟、公益財団法人にいがた産業創造機構、一般社団法人新潟青年会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、新潟日報社、毎日新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、日本経済新聞社新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO

参加者 のべ300名

■オープニングセッション

1月30日(火) 13:00～15:30

○歓迎あいさつ

NICE実行委員長・ERINA代表理事

河合正弘

新潟県知事

米山隆一

新潟市長

篠田昭

○来賓あいさつ

経済産業省通商政策局韓国室長

桐部仁志

外務省欧州局日露経済室首席事務官

林直樹

○基調講演

「北東アジアの経済統合に向けての金融協力」

公益財団法人国際通貨研究所理事長

渡辺博史

「北東アジア地域統合の新たな地政学」

米ブランダイス大学教授

ピーター・ベトリ

「経済の強靭性を高める強いアジアの域内協力と投資」

アジア開発銀行(ADB)チーフエコノミスト

澤田康幸

■セッション A: 人と物とサービスの自由な移動

1月30日(火) 15:45～18:00

○報告

北京交通大学交通輸送学部教授

董春嬌

ロシア科学アカデミーシベリア支部エネルギーシステム研究所副所長

ボリス・サネーエフ

国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP) ICT 開発部長

奥田敦子

アジア開発銀行(ADB)経済調査・協力部エコノミスト

竹中愛子

大阪観光大学名誉教授

鈴木勝

○コーディネーター

NICE実行委員長・ERINA代表理事

河合正弘

■セッションB：地域開発戦略の現状と課題

1月31日(水) 10:00～12:15

○報告

大図們江イニシアチブ(GTI)事務局長
 吉林大学東北アジア研究院副院長
 極東連邦大学教授
 江原大学校教授
 モンゴル国家開発庁開発政策調整部
 国土交通省国土政策局総合計画課長

トゥグドル・バーギーフ
 吳昊
 タギル・フジヤートフ
 具正謨(クー・チョンモ)
 エンフトヤ・テムチグジャブ
 木村実

○コーディネーター

ERINA調査研究部長

新井洋史

■セッションC：ビジネス交流と自治体協力

1月31日(水) 13:30～15:45

○報告

中国共産党綏芬河市委員会書記
 中国共産党琿春市委員会副書記
 境港管理組合港湾管理委員会事務局長
 北海道銀行国際部ロシア室長
 北陸AJEC業務課長

王興柱
 彭樹海
 吉川寿明
 三上訓人
 平陽一郎

○コーディネーター

ERINA経済交流部部長代理

安達祐司

■クロージングリマーク

1月31日(水) 15:45～16:10

NICE実行委員長・ERINA代表理事

河合正弘

本特集は、「2018北東アジア経済発展国際会議イン新潟」の内容を当日の録音及び資料をもとにまとめたもので、文責はERINAにある。関係各国名は中華人民共和国を中国、朝鮮民主主義人民共和国を北朝鮮、モンゴル国をモンゴル、大韓民国を韓国、ロシア連邦をロシアとそれぞれ表記した。また、各人の発言における「日本海／東海」(Japan Sea / East Sea)などは講師の表現をもとに表記した。